

デジタルアーカイブフェス2024—活用最前線！—
第III部(6)ジャパンサーチ連携・デジタルアーカイブ活用事例報告

まつばら文化財 デジタルアーカイブ を活用したイベントについて

2024.08.26@Online

松原市教育委員会事務局 教育総務部 文化財課 大矢 祐司

大阪府松原市について

- 大阪府のおよそ中心(へそ)に位置する
- 江戸時代以前は河内国
- 北は大阪市と八尾市、西と南は堺市、東は羽曳野市と藤井寺市に接する。百舌鳥古墳群と古市古墳群の間
- 昭和30年(1955)に2町3村が合併して誕生
- 市の木は松、市の花は薔薇
- 市の面積16.66km²、ほぼ平坦な市域の70%が宅地
- 人口116,476人、世帯数59,041(2024年6月1日現在)



デジタルアーカイブの構築から活用までの経過

- 2019年1月 奈良文化財研究所の研修「デジタルアーカイブ課程」を受講
(ここで、ジャパンサーチ試験版の公開を知る)
- 2021年4月 デジタルアーカイブの構築開始
- 2022年3月 松原市ホームページ内で自由に二次利用可能なコンテンツを「まつばら文化財デジタルアーカイブ」として公開
- 2022年8月 「まつばら文化財デジタルアーカイブ」のコンテンツを文化庁のポータルサイト「文化遺産オンライン」で公開
- 2022年9月 文化遺産オンラインをつなぎ役として「ジャパンサーチ」と連携
- 2023年7月～2024年1月 デジタルアーカイブ活用イベントを実施

まつばら文化財デジタルアーカイブについて

- 2022年3月に「**松原市ホームページ**」で公開を開始
- コンテンツは「まつばらいろはかるたデジタルアーカイブ」と「デジタルアーカイブオープンデータセット」の2本だて
- コンテンツは**自由に二次利用が可能(原則、CC BYまたはPDM)**
- 静的ページでコンテンツの検索機能なし(一般的なウェブサイト)

まつばら文化財デジタルアーカイブ
更新日: 2023年3月31日

まつばら文化財デジタルアーカイブ

凡例

まつばら文化財デジタルアーカイブの利用について

まつばら文化財デジタルアーカイブオープンデータセット

まつばらいろはかるたデジタルアーカイブ

お知らせ

- まつばらいろはかるたデジタルアーカイブにコンテンツ42点を追加しました(2023年03月31日)
- まつばらいろはかるたデジタルアーカイブにコンテンツ3点を追加しました(2023年03月09日)
- コンテンツのサムネイル画像とメタデータが、国立国会図書館の運営するポータルサイト「[ジャパニサーチ](#)」からも検索・閲覧できるようになりました(2022年09月07日)
- コンテンツのサムネイル画像とメタデータが、文化庁のポータルサイト「[文化遺産オンライン](#)」からも検索・閲覧できるようになりました(2022年08月20日)
- まつばらいろはかるたデジタルアーカイブにコンテンツ13点を追加しました(2022年05月16日)
- まつばらいろはかるたデジタルアーカイブでコンテンツ32点の公開を開始しました(2022年03月30日)

コンテンツ

- [まつばらいろはかるたデジタルアーカイブ](#)

まつばらいろはかるたデジタルアーカイブについて

- まつばらいろはかるたの題材となった文化財の画像コンテンツを公開。当初32点で、現在は90点
- 古文書は、翻刻と読み下し文のdocx形式ファイルを作成。画像との重ね合わせ機能なし
- 画像ファイルは20MB以下のJPEG形式。ダウンロード可能
- 全コンテンツを1ページに配置しているため、縦長の構成。サムネイル画像の拡大表示なし、API連携も不可能

■ 両我堂村社寺帳



d0000001_metadata

タイトル	両我堂村社寺帳
ヨミ	リョウガドウムラシヤジショウ
時代	江戸時代
制作年(和暦)	元禄5年
制作年(西暦)	1692
差出人・作者・著者	東我堂村庄屋 忠左衛門、同村年寄 文左衛門、同 弥左衛門、同 七左衛門、西我堂村庄屋 作左衛門、同村年寄 徳左衛門、同 弥兵衛、同 徳兵衛
宛所	なし
形状	縦帳
大きさ(cm)	24.3×17.0
資料解説	東我堂村と西我堂村に所在した神社と寺院について記したもの。境内にある建物の名称と規模が記載されている。この資料より、我堂八幡宮の境内に神宮寺が存在したことがわかる。
資料所蔵者	個人
画像の二次利用条件	PDM

















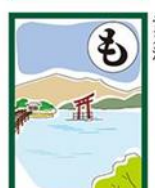
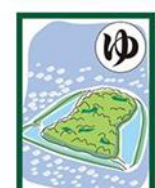
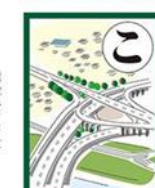
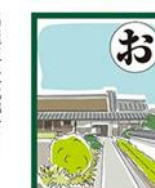




















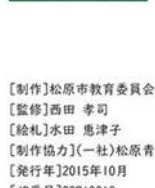






まつばらいろはかるたについて

- 2015年度に市制施行60周年を記念してリニューアルした郷土かるた
- 絵札をCC BY-NC、読み札と解説文をCC BYで公開
- 松原市ホームページと「[全国遺跡報告総覧](#)」からダウンロードして印刷が可能
- [ジャパンサーチ](#)でも閲覧可能



出典：[まつばらいろはかるた](#)／松原市ホームページ

市制施行60周年記念
まつばら
いろは
かるた

 絵馬たくし 阿麻美社に 神たのみ	 西方寺 平安朝の 夢やとし	 けんね塚 ながれついたと童唄	 井筒は弘法の井戸 村すくう	 つれづれに橋庵名医 漢詩詠む	 王仁博士 教えしあとや 聖堂池	 土器づくり文化の名残り 立部の土師器	 いにしえに 都置かれし 柴籬宮
 一津屋に残るトリキは 昔人の知恵	 きなこつけ 半夏生の赤ねこ田植すむ	 古池に 河合だんじり いせいよく	 野に多く 伝説の池 親王池址	 願いごと かなえてはしき 天神様	 河内画師 仏教文化の 名の誉れ	 ちちかみの 伝説かなし はがみさん	 โรมันあり 我堂八幡宮 カ石
 杜の島鳥居が浮かぶ 弁天池	 雄大な 大塚山古墳 漆広し	 高速道 近代都市を むすぶ道	 大庄屋 昔しのはる 門がまえ	 難波から 飛鳥にかよう 丹比道	 世の移り 変り見て来た 追分地藏	 りりしきは 阿保親王と 人したう	 はるかなり キリシタン 灯籠 熱田神社
 全国にひびく釣鐘 河内錫物師	 名水や 酒屋権現 出てし井戸	 恵我の地に 古戦場残す 若林	 楠大樹 千年と伝う 阿保神社	 来迎寺 藩主の墓地や 大いぶき	 丹南藩 一万石の陣屋址	 布忍にも 十一面観音 大林寺	 西除の 夜桜たのし 今池堤
 住吉の 神にささげし 『積翠集』	 三宅木綿 夜なべ糸つむ 機を織る	 敵をうつかねつき山は とりてあと	 大和川 しずかに流る 川違え	 むかしよりしめす石標 高野みち	 れんめんと 農業見守る 田坐神社	 類のない 印材技術 地場産業	 本尊は 楠木守る 聖観音
 柴かつぐ 天美小の 金次郎像	 安心と 安全めさす まちづくり	 松とバラ 市民が憩う 公園に	 駅家には 清水もありし 大津道	 織りつづく 木綿の技術 金網に	 そもその 農の初まり 池内遺跡	 扇額は 八つの景勝 布忍宮	



かるたの札は、松原市のホームページからダウンロードして、個人利用が可能です。



かるたの札の題材になった文化財については、「まつばら文化財アーカイブ」をご覧ください



【制作】松原市教育委員会
【監修】西田 孝司
【絵】水田 恵津子
【制作協力】(一社)松原青年会議所
【発行年】2015年10月
【JP番号】22713213

デジタルアーカイブを活用した イベント・ワークショップについて

丹南藩立藩400年記念

丹南陣屋御城印

2023年(令和5) 通常版 300枚
9月1日 配布開始 特別版 200枚



河内国丹南 丹南藩
藩代大名 高木家

御城記念
令和5年
日

まちの記憶をデジタル アーカイブ @ 松原市

11.18日

13:00~17:00
ふるさとぴあプラザ

フリー地図 OpenStreetMap と
フリー百科事典 Wikipedia で
文化財と地域の魅力を記録し
て、世界に発信しよう!

主催 | 松原市教育委員会
共催 | Code for OSAKA

ウィキペディア タウン in 松原市

10.1日

13:00~16:30

フリー百科事典 Wikipedia で、
文化財と地域の魅力を発信!

場所 | 読書の森 (松原図書館)
主催 | 松原市教育委員会

まちの記憶をデジタル アーカイブ @ 松原市 #2

1.28日

13:30~16:30
ふるさとぴあプラザ

石碑などの文化財に残されたメッセージを
スマートフォンアプリ「ひかり拓本」で
記録しよう!!



©奈良文化財研究所 11/2023 田中 せとこ 主催 | 松原市教育委員会

丹南陣屋御城印の配布イベントについて

- 高木氏の丹南藩が立藩400年を迎える記念として開催
- 開催期間は2023年9月1日～12月28日
- 3つの文化財をめぐって、写真・スクリーンショットを撮影した人に記念品として御城印をプレゼント
 1. デジタルアーカイブで公開した丹南村地籍図
 2. 丹南・来迎寺に残る丹南陣屋跡の石碑
 3. 郷土資料館常設展示室の陣屋跡出土品



丹南陣屋御城印の配布イベントについて

【文化財をめぐる(その1) デジタルアーカイブ】

- インターネット上のジャパンサーチ、文化遺産オンライン、まつばら文化財デジタルアーカイブ（松原市ホームページ）のうち、いずれか1つのサイトにアクセスする。そして、**丹南村地籍図**のページをスクリーンショットで撮影
 - ✓ 丹南陣屋は建物などの上部構造が残っていない。そのため、陣屋の範囲が描かれた資料を見てから現地をめぐるほしい
 - ✓ 松原市のデジタルアーカイブに不足する機能は、ポータルサイトに依存している。また、それぞれのサイトで役割が異なる。そのため、イベント参加者に3サイト全てを必要と感じてもらう必要がある

文化遺産オンライン Cultural Heritage online

作品一覧 カテゴリで見る 世界遺産と無形文化遺産 全国の美術館・博物館

Collection List Gallery World Heritage and Intangible Cultural Heritage Museum List

〔丹南村地籍図〕
〔たんなんむらちせきず〕



概要

〔丹南村地籍図〕
〔たんなんむらちせきず〕
絵図・地図 / 江戸 / 大阪府

河内国第貳拾壹区丹南郡丹南村戸長松村文三郎、副戸長小池彦三郎
松原市、河内国第21区丹南郡丹南村
明治6年 / 1873
紙本彩色・絵図
縦94.8cm×横172.5cm
1枚
大阪府松原市
まつばらいろはかるた関連文化財36-丹南藩一万石の陣屋址

おすすめ検索

〔丹南村地籍図〕をもっと見る
河内国第貳拾壹区丹南郡丹南村戸長松村文三郎、副戸長小池彦三郎をもっと見る
まつばら文化財デジタルアーカイブ (大阪府松原市)をもっと見る

キーワード
丹南 / 松原 / 陣屋 / いろは

関連リンク

所蔵館のウェブサイトで見

まつばらいろはかるた関連文化財36-丹南藩一万石の陣屋址
個人
未指定

所蔵館のウェブサイトで見
まつばら文化財デジタルアーカイブ (大阪府松原市) 開

関連する書籍を探す

解説

明治6年に制作された丹南村の地籍図で、絵図名は記されていない。一筆ごとに地番が記されている。丹南藩の陣屋跡地は「邸内地」として描かれており、地番は記されていない。また、西除川右岸に「元丹南泉操練場」と記された土地が見られる。

関連作品

20件で表示 チェックした関連作品の検索 検索する

〔丹南村絵図〕

〔丹南村絵図〕

丹南遺跡E8-3-24 調査区南側全景

高木主水正男戦図

トップ > 詳細検索

文化遺産オンライン Cultural Heritage online

作品一覧
カテゴリで見る
世界遺産と無形文化遺産
全国の美術館・博物館

日本列島タイムマシンナビ

世界遺産
無形文化遺産
動画で見える無形の文化財

媒体資料・関連記事等
博物館、美術館の皆さまへ
文化庁よりご挨拶
今月のみどころ
お知らせ一覧
ヘルプ
このサイトについて
関連サイトリンク
サイトマップ
サイトのご意見はこちら

文化遺産データベース
国指定文化財等データベース

JAPAN SEARCH

文化財

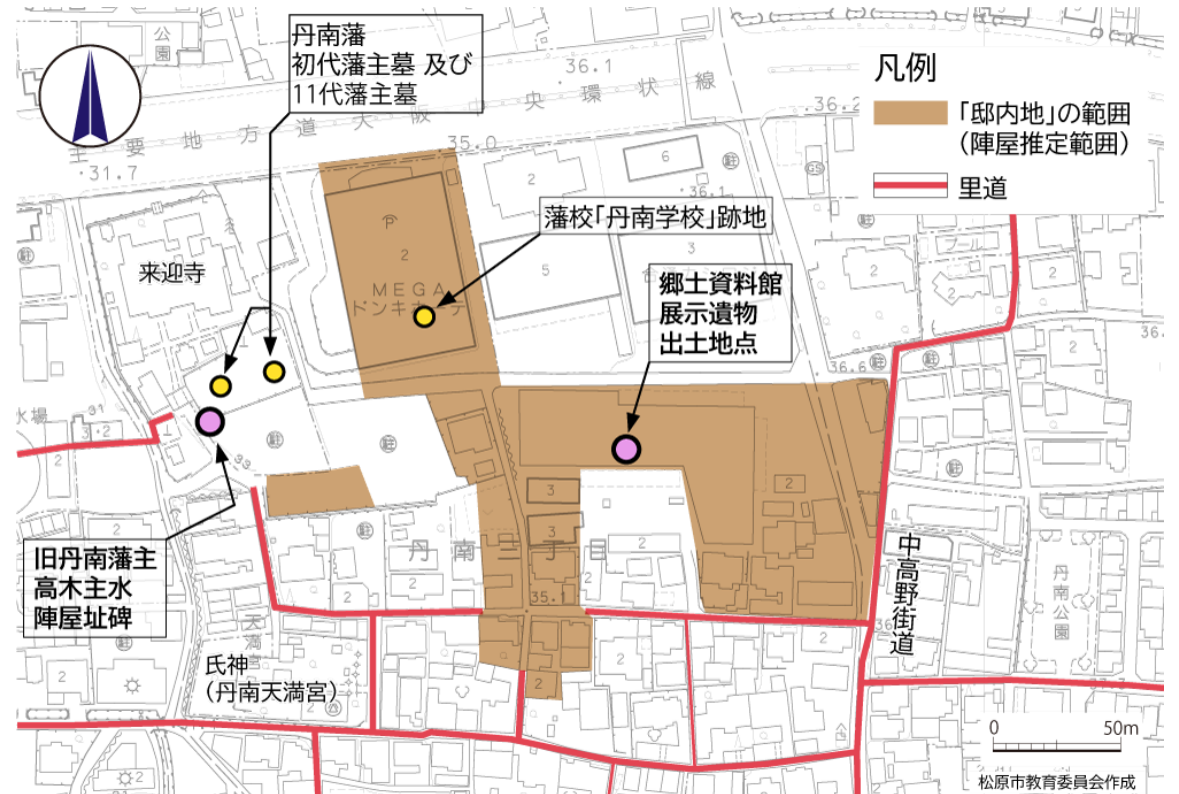
CULTURAL PROPERTIES DIGITAL CONTENT 文化財 デジタルコンテンツ

日本遺産 JAPAN HERITAGE

丹南陣屋御城印の配布イベントについて

【文化財をめぐる(その2) 現地(丹南陣屋跡地)】

- 松原市丹南にある来迎寺(融通念佛宗)を訪れる。そして、山門の前にある**舊丹南藩主高木主水正陣屋址碑**の写真を撮る
 - ✓ 現地への行程などを調べることで、松原市の情報に触れてほしい
 - ✓ デジタルアーカイブで公開している他の関連文化財もめぐってほしい



丹南陣屋御城印の配布イベントについて

【文化財をめぐる(その3) 展示施設】

- ふるさとぴあプラザにある郷土資料館で、丹南遺跡(丹南藩陣屋跡)の出土品を写真に撮る
- 撮影画像3点を受付で提示し、御城印を受け取る
 - ✓使われた時代や場所について知ってから、常設展示を見てほしい(基礎自治体の歴史展示施設として)
 - ✓展示品のうち、遺跡からの出土品が撮影OK・自由に二次利用OKだと知ってほしい



丹南陣屋御城印の配布イベントについて

【SNSでのPR協力者をつのる】

- ハッシュタグ(#松原市 #文化財 #丹南陣屋) を付けて撮影画像をSNSに投稿した参加者は、特別版の御城印がもらえるハッシュタグキャンペーンを実施
- 参加者にSNSで情報を発信してもらうことで、他のイベント参加者を可視化



オープンデータを作成するワークショップについて

- デジタルアーカイブのデータを拡散して入口を増やし、不足するデータをみんなで作ることを目的に実施
- ワークショップには、誰でも編集可能かつ二次利用可能な百科事典「**ウィキペディア**」・ファイルリポジトリ「**ウィキメディアコモンズ**」・地図「**オープンストリートマップ**」を使用(講師の資料は「[全国遺跡報告総覧](#)」で公開してDOIを付与)
 - ✓ 自分が楽しんだ成果をオープン(パブリック)にすることで、他の誰かがまた楽しめる
 - ✓ デジタルアーカイブは、ウィキペディアの記事を編集するための適切な情報源
 - ✓ ジャパンサーチは、安心・安全に利用できる画像コンテンツが入手できる
 - ✓ 文化財と周辺環境の現状は、誰でも記録できる (写真・地理空間情報など)

イベント・ワークショップに伴う活動の位置づけ

知ってもらう

日常業務で使ってもらう

コミュニティで使ってもらう

コミュニティを超えた交流

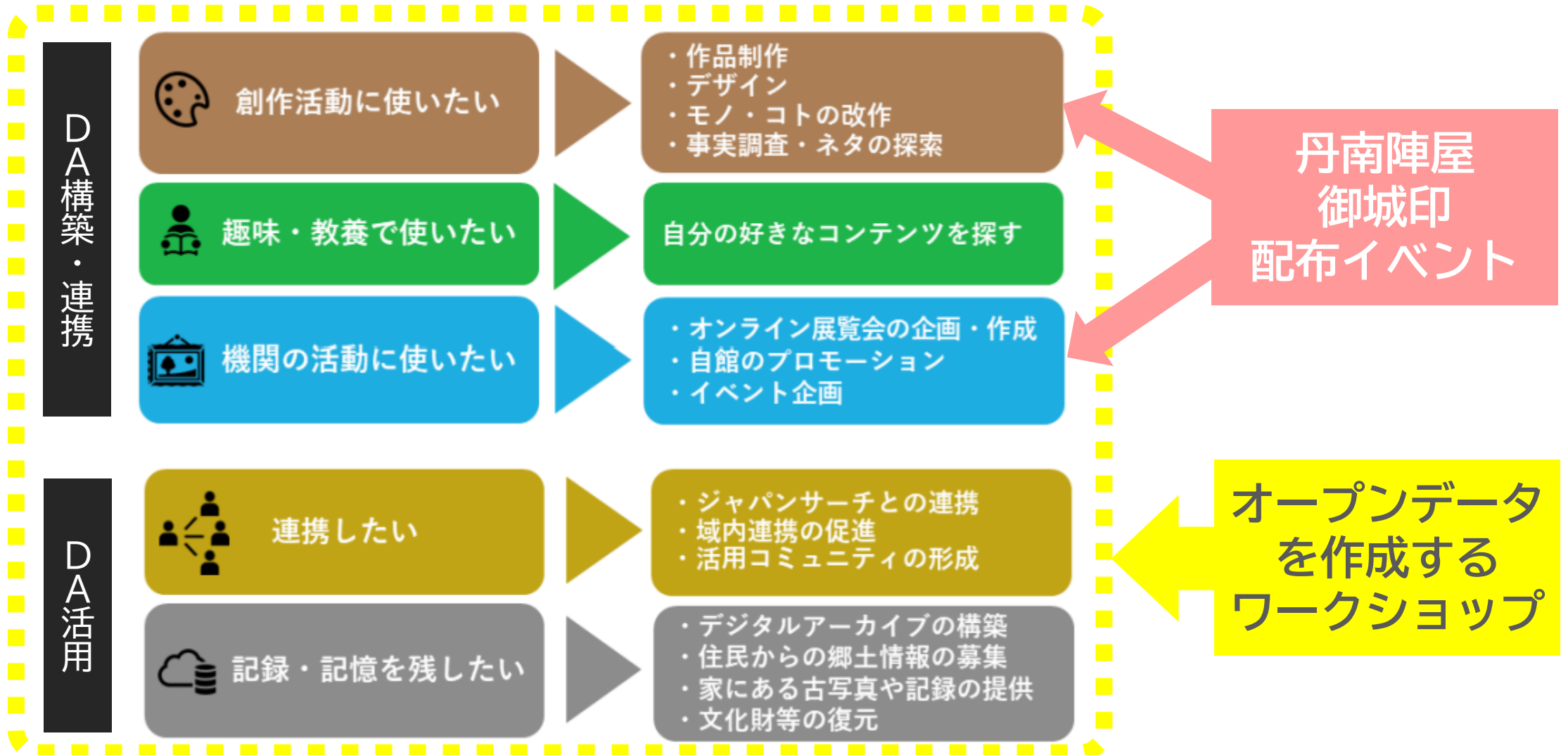
<p>活用者</p>	<p>・SNS等の発信</p>	<p>【例】(教職員) 授業・講義の実践 (図書館員) レファレンス (学芸員) 展示/企画テーマ検討 (クリエイター) 創作活動のアイデア探し/素材の利用 (記者) 調査/掲載用素材/ネタ探し</p>	<p>・デジタルコンテンツのキュレーション実践 ・同じコミュニティ内での事例共有 ・ワークショップ等の開催</p>	<p>・ジャパンサーチイベントへの参加 ・新しいサービスの開発・提供</p>
<p>アーカイブ機関</p>	<p>・同じ組織内の関係者との情報共有 ・ウェブサイトへのJPSロゴの掲載</p>	<p>・広報担当者にSNS発信でコンテンツを使ってもらう ・日常業務で使ってもらうよう働きかける</p>	<p>・コミュニティ向けワークショップ等の開催</p>	<p>・異分野の他機関とのギャラリー共同制作</p>
<p>ジャパンサーチ</p>	<p>・連携機関の広報活動支援のためのリーフレット作成 ・連携機関向けワークショップの開催 ・JPSロゴの提供</p>	<p>・連携機関の広報活動支援のためのリーフレット作成 ・連携機関向けワークショップの開催 ・JPSロゴの提供</p>	<p>・コミュニティ向け活用マニュアルと事例の情報発信 ・目的ごとの活用コミュニティの形成</p>	<p>・連携機関の広報活動支援のためのリーフレット作成 ・連携機関向けワークショップの開催 ・JPSロゴの提供</p>

周囲への働きかけ

同じ組織内の関係者への働きかけ

同じ分野・地域コミュニティへの働きかけ

イベント・ワークショップの活動イメージ



さいごに

【デジタルアーカイブ活用のふりかえり等】

- デジタルアーカイブへの入口をあらゆる場所にちりばめる必要がある
- イベント期間中にSNSに投稿し続けるなどの工夫が必要
- オンラインで文化財をめぐるだけのイベントも必要？

【ジャパンサーチへの期待】

- ジャパンサーチから連携機関のサイトへのアクセスを増加させるイベント
 1. テーマに沿った連携機関のサイトをめぐると景品がもらえる
 2. ジャパンサーチで身近にあるコンテンツを写真に撮って送ると景品がもらえる